



宇部市は99歳になりました！ 市民とともに100歳へ キックオフ！！

山口県宇部市(宇部市常盤町一丁目7番1号)は、令和3年(2021年)11月1日に、市制施行100周年を迎えます。その1年前にあたる、令和2年(2020年)11月1日を、100周年記念事業のキックオフとし、宇部市のこれまでの歩みと未来をつなぐ大切な1年をスタートします。

石炭産業が活発になり人口の急速な拡大と飛躍的な発展を遂げ、大正10年(1921年)、村から一躍市制を施行し、誕生した宇部市の歴史は、産官学民が一体となり公害を克服した「宇部方式」に代表される、市民協働の歴史です。

間もなく迎える100周年という歴史的な節目を、全市をあげてお祝いすることで、宇部を築いた先人達へ感謝をするとともに、郷土の魅力を再認識し、市民や企業と一体となって様々な事業に取り組み、次の100年に「希望あふれる未来」をつなぎます。

<お問い合わせ先>

◆市制施行100周年記念事業全般

宇部市市制施行100周年記念事業推進課 TEL 0836-34-8898 FAX 0836-22-6063

◆市制100周年記念彫刻プロジェクト関連

宇部市UBEビエンナーレ推進課 TEL 0836-51-7282 FAX 0836-51-2777

宇部市制施行100周年記念サイト開設！

市制施行100周年の機運醸成と、市民プロジェクトや各記念事業の推進を図るため、宇部市制施行100周年記念サイトを開設しました。

サイト内では、市民から提供いただいた写真を盛り込んだ宇部市のあゆみの振り返り、市民プロジェクト・各種記念事業の取組情報、市民参加による記念日までのカウントダウン、市民に向けての募集情報などを掲載し、宇部市の歴史や魅力を市内外に発信していきます。

●宇部市制施行100周年記念サイト

■サイトの内容

- ・事業構想
- ・本市のあゆみ(宇部市の年表)
- ・記念事業
- ・市民プロジェクト
- ・次に残す宇部の記憶(市民提供写真)
- ・お知らせ・募集情報 など
- ※随時、追加更新を予定

■サイトURL: <https://www.ube100th.jp/>



幅広い世代の市民が参加する、市民参加型事業を実施！

宇部市では、100周年という歴史的な節目を、幅広い世代の市民が、改めて宇部のまちを見つめ直し、ふるさと宇部への誇りと愛着を深めてもらえるように各種事業を進めているところです。

さまざまな記念事業を通じて宇部の魅力を市内外に発信し「希望あふれる未来」を次の世代へとつなげていく機会と捉え、市民と一体となってオール宇部で取り組んでいきます。

●宇部市制施行100周年記念事業

- ・市役所等にカウントダウンボード設置
- ・記念サイト内でのカウントダウン写真・メッセージ掲示
- ・市内イベント等開催時、のぼり旗・バックボード貸出
- ・市内郵便局での記念年賀はがき販売
- ・Made in UBEにこだわった竹製記念ピンバッジ
- ・100年の歴史を振り返る記念カレンダー配布
- ・100周年ロゴを使用した記念商品登録 など



市民が主役「市民プロジェクト」

2021年に市制施行100周年を迎えるにあたり、市民自らが自由な発想で企画し、実行する市民プロジェクトを募集したところ、60の個人・団体から80プロジェクトの応募がありました。

応募者により100周年記念市民プロジェクトチームを組織し、2021年の市制100周年に向け、プロジェクトの実施を目指して活動をしています。

●市民プロジェクト

- ・宇部市の伝統芸能文化復興のお手伝いプロジェクト
～岩戸神楽舞復興に挑む～
- ・伝説のピアノ復活計画
- ・宇部市現代アートを巡るたび
- ・竹のコト・モノづくり など



『市制100周年記念彫刻プロジェクト』 候補作家3名決定！

ときわ公園（山口県宇部市）のUBEビエンナーレ彫刻の丘では、1961年以来、大規模な野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」を2年に一度開催しています。市街地や公園には、歴代の入賞作品が設置され、まち全体が野外彫刻美術館となっています。

この度、宇部市制施行100周年と野外彫刻展60周年を同時に迎えることを記念し、『市制100周年記念彫刻プロジェクト』として、令和6年（2024年）に完成予定の新庁舎広場に野外彫刻を設置します。令和2年（2020年）10月3日に、作品制作を依頼する作家を選考する一次選考委員会を開催し、次のとおり3名が決定しました。候補作家3名による作品プランは、令和3年（2021年）8月27日に完成予定です。



詳細はHPで！



植松 奎二
うえまつ けいじ

1947年神戸市生まれ
大阪府在住の彫刻家



フロリアン・クラール
Florian CLAAR

1968年シュトゥットガルト（ドイツ）生まれ
日本、ドイツ在住の現代美術家



Credit : Pic by paul barbera /where they create

大巻 伸嗣
おおまき しんじ

1971年岐阜県生まれ
東京都在住の美術作家



新庁舎広場イメージ図（令和6年度完成予定）



「蟻の城」 向井良吉

1962年に宇部をテーマに制作された「蟻の城」は、野外に設置された大型抽象彫刻としては日本初の作品でした。現在も、「ときわ公園／UBEビエンナーレ」のシンボルとして広く愛されています。

【選考委員】

酒井忠康（委員長）、澄川喜一、水沢勉、河川龍夫、斎藤郁夫、藤原徹平、不動美里、日沼禎子、高橋咲子、久保田后子（令和2年10月3日まで）

【作品テーマ】

「100周年、希望あふれる未来へ」

村から市へと発展する原動力となった石炭産業。戦後の復興期に、日本全国のインフラ整備を支えた化学工業。かつて「工業都」と呼ばれた本市は、その後、産官学民による宇部独自の環境改善と彫刻によるまちづくりを展開し続けてきました。彫刻作品のテーマは、本市のこれまでとこれからを繋げるシンボルとなる「100周年、希望あふれる未来へ」とします。